

クリーンエコシティ岩見沢

発行：ごみのよりよい始末を進める市民会議

はじめに ～代表委員長より～

ごみのよりよい始末を進める市民会議は、令和元年8月、第五期目の市民会議委員の委嘱を受けた36名により発足いたしました。

「環境フェスタ」、「衣類のくるくる市」の開催等、様々な啓発活動、多くのイベントへの参加、代表委員の研修を行っております。

市民の皆様のご理解ご協力を得ながら、山積する諸問題を解決すべく取組み努力を重ねている所です。

令和2年度の活動目標としては、更なる、ごみ減量、適正な分別、リサイクル資源の再利用の励行を進めて参ります。

また、私達委員は、各地区協の推薦を受けて居る事でもあり、その地域に合った個々の諸問題の解決を図り、これからも安全で安心して暮せる環境づくりに努めて参ります。

代表委員長 春木 芳則



▲ごみ・環境総合案内所
クリーンエコ

市民会議の活動紹介

環境フェスタ2019 ～7月6日(土)

【環境フェスタを顧みて】

市民会議の活動は、ごみの減量化・資源化の啓発活動、クリーンエコの運営（資源物受入、ごみの分別相談等）等多岐にわたっていますが、一大イベントである「環境フェスタ2019」は天候に恵まれた中、開催することができました。

団体・企業の皆様には、前日の会場の設営、当日は出展等のご協力を頂きました。また、大勢の市民の皆様がご来場され、賑やかなイベントになりました。

【リユース自転車の抽選販売ほか】

春木代表委員長の挨拶で開会し、イベントホールでは、「ゴーヤンと学ぶ！ごみ・環境クイズ」や、加賀代表副委員長による生ごみ堆肥化講座を行いました。

各ブースには、おもちゃの病院、楽しく学ぼう！コーナーや中学校制服の譲渡コーナーなどがありました。また、屋外会場では、エコカー展示会（電気自動車・PHEV車）や、



◀ エコカー展示会

毎年大好評のリユース自転車の抽選販売のための自転車展示がありました。

アンケート記入のお礼のエコグッズや、子ども達へのポップコーンのプレゼント、岩見沢農業高校生が育てたアサガオの花苗の無料配布は、例年通り多くの方に喜んで頂きましたが、特に、リユース自転車抽選会は、当選・落選で一喜一憂し、大盛況で終了しました。

今回は参加できなかった市民の皆様方も、次回の環境フェスタへ参加されてはいかがでしょうか。ご家庭でのごみの出し方・減量化・再資源化のヒントになるかと思えます。



▲大盛況のリユース自転車抽選会



▲いわ☆ぴかのコーナー

【学生服のリユースについて】

今年も、環境フェスタにおきまして学生服を出しておりますが、大変喜ばれておりますので、サイズが合わなくなった学生服がありましたら「クリーンエコ」までお持ちください。

道内視察研修（苫小牧市） ～ 10月28日（月）

【苫小牧市沼ノ端クリーンセンター】

岩見沢市の「いわ☆ぴか」に当たるのが、「クリーンセンター」「埋立処分場」「埋め立て処分場水処理施設」等の施設でした。

それらに加え、家具や自転車等の大型ゴミの修理再生や、リサイクルの体験学習、環境やごみ問題について学習できる「リサイクルプラザ」も併設されていました。キッズコーナーや体験学習のための工房、リサイクル家電・自転車の販売コーナーもありました。

20年余り経過した施設との事でしたが、非常に清潔で、匂いもなく、かつてのごみ処理施設にはほど遠い、立派な施設でした。



▲施設の模型を見ながら説明を受ける様子



▲リサイクル家具の展示コーナー

【王子製紙株式会社 苫小牧工場】

苫小牧市のシンボルとも言われる高さ約200mの巨大な煙突を有する王子製紙(株)苫小牧工場は、100年の歴史があり、現在では世界屈指の製紙工場として知られています。

また、支笏湖の水を利用した水力発電所及び火力発電設備で工場内の電力を全て賄うほか、排水を各工程で繰り返し再利用した後に浄化し放流を行うなど、環境に配慮しています。

更に、我々が出した古新聞やチラシ等を全国から収集し、大切な原料として再度新しい新聞用紙を製造し100種以上の地方紙を含め、日本全国100か所以上の印刷工場に供給しております。

また、他の分野では王子総合病院、ホテルニュー王子の運営等を行い、地域の地球環境及び事業経済に貢献されているとのことでした。



▲集合写真

ごみの減量・適正分別啓発活動

【岩見沢神社秋季例大祭 ～ 9月14日(土)】

秋季例大祭には、天候にも恵まれ、市内外から多くの方が訪れていました。

多くの露店が並び、買い物や飲食する人で賑わい、多くのごみが出される場でもあります。

会場内の特設ごみ集積所前には、市民会議の代表委員が立ち、ごみを捨てに来た人に空き缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装など資源ごみの分別の徹底を呼びかけました。

また、会場内を巡回し、散策する人達にごみ減量の啓発を行いました。

更なるごみの減量・適正分別を図るためには、引き続き、地道な啓発活動が必要であると感じました。

【ふるさと百餅まつり・消費生活展 ～ 9月15日(日)】

実に37回目の開催となり、回を重ねるごとに盛況になる百餅まつりで啓発を行いました。

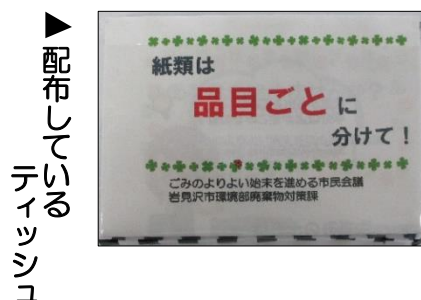
今回は、消費生活展及びいわみざわ情熱フェスティバルが重なり、大賑わいでした。

『ごみの分別にご協力願います』のノボリを先頭に、人混みを縫うように、4条通りと西2丁目通りで啓発運動を展開し、『生ごみのダイエット』のチラシ入りのポケットティッシュを手渡し、ごみの減量や適正分別を呼びかけました。

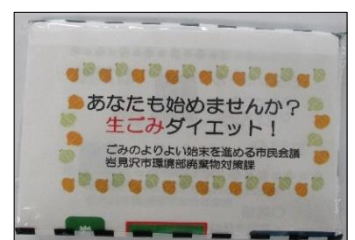
また、消費生活展では、パネル展示等を通してごみの適正分別及び減量をお願いしました。



▶ 啓発の様子



▶ 配布しているティッシュ



衣類のくるくる市 ～ 平成31年3月21日（木・祝） 令和元年10月12日（土）

市民会議が、現在の体制で活動するようになってからもうすぐ10年が経過します。この間、ごみの減量についての啓発活動・環境フェスタの開催等を実行しております。特に、生ごみの処理を家庭で行うための講座「コンポスト講習会」を年6回ほど開催し、延べ150人以上の市民の方が受講されております。

そして、平成30年3月からは、家庭で使用しなくなった衣類を拠点で集め、必要な方に無料で渡す「くるくる市」をごみと環境を考える市民の会と共に、年2回開催しております。

色々な、イベントを開催しておりますので、市民の皆様のご参加をお待ちしております。

【第5回衣類のくるくる市の開催について】

開催日程等

開催日 令和2年3月20日（金・祝）
会場 いわみざわ健康ひろば

衣類の受入れ

期間 令和2年3月6日から15日
場所 岩見沢友の家・クリーンエコ

詳細については、別紙チラシをご覧ください。

【衣類のくるくる市開催実績】

	受入れ(枚)				来場者 (人)	持帰り (枚)
	婦人	紳士	子ども			
第1回(H30.3.21)	—	—	—	3,056	220	1,046
第2回(H30.10.21)	1,323	172	145	1,640	214	1,022
第3回(H31.3.21)	1,574	212	327	2,113	360	1,672
第4回(R1.10.12)	2,070	416	832	3,318	307	1,622
	4,967	800	1,304	10,127	1,101	5,362

※第1回開催時は、衣類の受入れ枚数の全体数のみ集計しています。



▲多くの方にご来場いただきました



▲前日準備の様子

生ごみ堆肥化の推進

生ごみ堆肥化講座

クリーンエコにおいて、コンポスト・ダンボールコンポストを利用した、生ごみ堆肥化講座を年6回程度開催する予定です。日程等の詳細は、広報いわみざわに掲載しますので、ご確認の上クリーンエコまでお申し込み下さい。

初めての方向けの講習会となっておりますので、まずは基本をマスターして、生ごみ堆肥化の取組をしてはいかがでしょうか。

また、今まで取組んできた方は、体験談（成功・失敗例）の話の場として参加されてはいかがでしょうか。

コンポストの使用方法

生ごみを堆肥化するには色々あるようですが、安価で手軽に出来るのはコンポストではないでしょうか。

コンポストは1平方メートル有れば一台設置可能なので、お庭の花壇・菜園の隅に設置している方もいらっしゃいます。

また、冬期間（除雪期）は、コンポストの設置場所までの雪かきと、屋根からの落雪に会わない所に置く事をお勧めします。

私もコンポストを使い始めてから5年目になりますが、今年から冬期間使用の挑戦を始めましたので、春にはどの様な結果が出るのやら、楽しみです。

ダンボールコンポストの基材づくり

クリーンエコや市役所及び各支所・サービスセンターでは、「ピートモス」と「もみ殻くん炭」の2種類を一定の割合で混合した基材を販売しており、これは、ダンボールコンポストやコンポストの基材として使うことができます。

この基材は、市民会議メンバーと市廃棄物対策グループの職員で作りますが、もみ殻くん炭の細かい粉が舞う中の作業なので、終わった後は毎回みんなの顔が真っ黒になります。



【助成金交付実績】

(単位:個)

	H28	H29	H30	R1(10月末)
生ごみ堆肥化容器(コンポスト)購入助成	86	73	67	39
電動生ごみ処理機購入助成	4	6	6	2

市では、コンポスト及び電動生ごみ処理機の購入に対して、購入助成を行っております。

詳しくは、市廃棄物対策課までお問合せください。

クリーンエコについて

ごみのよりよい始末を進める市民会議の代表委員は、地区協より推薦され「クリーンエコ」を活動拠点に、市の職員の方と一緒に1日2名が交代で市民の皆様からのごみに関する質問、相談にお答えしています。

また、クリーンエコでは16種類の資源物を受け入れているほか、コンポストをお気軽に始められるよう、ダンボールでできたコンポストのキットと基材を販売しています。



※入口は3条通りに面しています。
クリーンエコをご利用の場合、駐車料金は4時間無料です。

資源回収品目

- びん（無色・茶色・その他の色）
- 缶（アルミ・スチール）
- 小型家電
- 乾電池
- 蛍光管
- 古布・衣類
- 廃食用油
- 古紙類
- ペットボトル
- 割りばし
- 紙パック
- 生ごみ
- 生ごみ堆肥

- ◎ ご利用案内
 開所時間： 午前10時～午後5時
 開所日： 火曜日～日曜日（月・祝休）
 問い合わせ先： **いいごみ** ☎31-1153

ごみの減量について～事務局から～

ごみの有料化開始から5年が過ぎようとしています。開始直後は、1日に排出される1人あたりのごみ量が減少しましたが、現在は増加傾向にあります。これは、紙類やプラスチック製容器包装などの資源ごみが分別されていないことや、生ごみの水切りが充分でないことが原因の一つになっていると考えられます。特に、燃やせるごみへの紙類の混入が多く、影響が大きいと考えられます。家庭ごみの分別ガイドブック等を今一度ご確認ください、ごみの減量化にご協力をお願いいたします。



編集後記

ごみのよりよい
始末を進める
市民会議

クリーンエコシティ岩見沢第8号を発行することが出来ました。今回は新しいメンバーも加わり、編集委員8名で発行しました。

事務局：岩見沢市環境部廃棄物対策課 ☎23-4111（内線214・215）